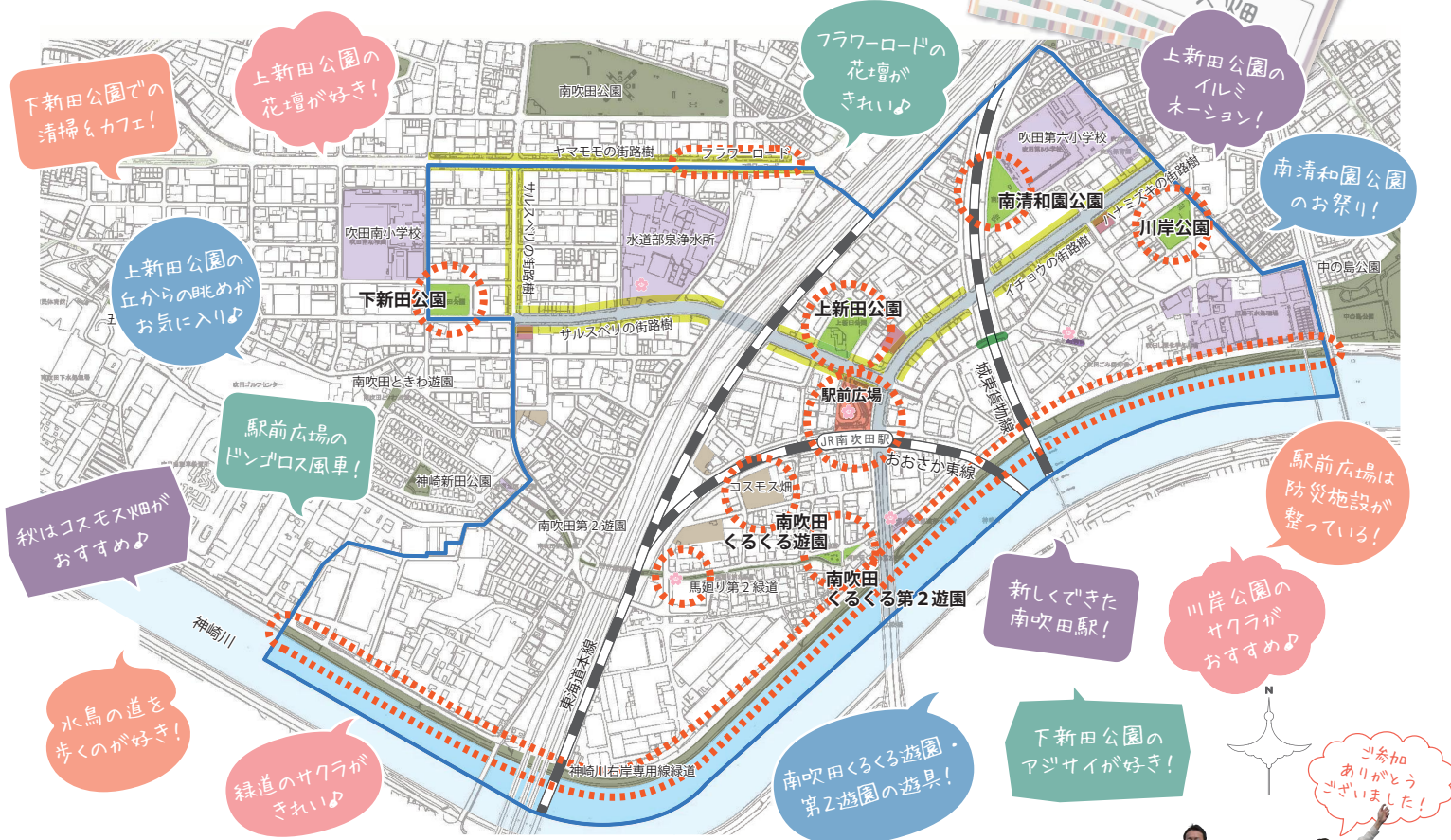


南吹田駅周辺おすすめスポット MAP

みなさんに南吹田駅周辺おすすめスポットを紹介してもらいました！
これらのスポットを巡りながらお散歩してみましょう♪



第1回ワークショップを終えて

子育て世代や高齢の方などに参加いただき、多様な視点での意見を集めることができました。地域住民ならではの体験に基づく意見が多く、具体的な利用者ニーズを把握できたと思います。また、既存施設や樹木などの公園の魅力についての意見や、改善すべきことの指摘もあり、今後の計画に反映できる意見を聞くことができました！

お知らせ

次回(第2回)ワークショップについて

日時 令和元年12月8日 日曜日 10:00 ~ 12:00

場所 吹田市水道部(泉浄水所)

※たくさんの方に申込みいただき、定員を満了しましたので、受付は終了しております。

ニュースレターについて

ニュースレター(各回のワークショップの内容をまとめたもの)は吹田市HPにも掲載しますので、ぜひご覧ください！

(<https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-doboku/kouenmidori/minamisuita/kouen.html>)



《吹田市HP》

主催・問い合わせ 吹田市土木部公園みどり室 【平間・古川】 TEL:06-6834-5364 メール:dousei-kouen@city.suita.osaka.jp



南吹田駅周辺 6公園再整備ワークショップ

平成28年8月、市は新しくできた南吹田駅の周辺を『緑化重点地区』に設定しました。緑化重点地区では、市内のみどりのまちづくりモデルになることを目指し、地区内にある6つの公園の再整備等を予定しています。

公園は地域のみなさんが日ごろから利用する場所であり、花やみどりの拠点となる重要な空間です。しかし、開園して50年くらい経過し、社会状況やニーズが変化すると共に施設の経年劣化が進み、中には利用しづらくなっているものも見られます。

全3回のワークショップでは、みなさんに意見を出し合ってもらい、一緒に考え、公園再整備の方向性を導き出します。その結果を反映して、地域のニーズに合わせた公園を計画します。

第1回

令和元年11/4(月)

公園利用

について考えを
膨らませる

第2回

令和元年12/8(日)

公園プラン

(必要な空間・場所)
について考える

第3回

令和2年1/18(土)

公園プラン

(必要な施設・樹木)
について考える

南吹田駅周辺緑化重点地区と 対象の6公園



南吹田駅周辺緑化重点地区について

なぜこの地区が設定されたのか？

- ①特にみどりの少ない地区
- ②新しく駅ができ、まちのシンボルとなる地区
- ③緑化の推進に対する市民意識の高い地区

緑化重点地区になるとどうなるのか？

- ①市域の中で集中的にみどりを増やす事業に取り組める
- ②緑化推進基金を優先的に活用することが期待できる
- ③優先して公園の再整備や施設の一部更新ができる

テーマ：花とみどりがいっぱい散歩したくなるまち南吹田

第1回ワークショップについて

場所：吹田市水道部（泉浄水所） 参加者：50人 グループ数：5班
開会のあいさつ・緑化重点地区計画やワークショップの内容について説明した後、各班に分かれてグループワークショップを行いました。

グループワークショップの内容

6公園の
魅力・不満を
集める

ポストイットに魅力や不満を書き出し、公園の情報をみんなで共有しました。

6公園の
利用方法に
ついて考える

公園利用カードを使い、各公園についてどんな使い方がしたいかを話し合いました。

6公園の
テーマに
ついて考える

各公園で、特に充実させたい利用方法を決め、公園のテーマを考えました。



お子様連れでも参加しやすいようお絵描きや絵本読みができる場所をつくりました（子ども12人）

3班

[参加人数：9人]

ほとんどの公園は、木陰があり休憩できることが魅力的だと言う意見が出ました。しかし、成長しすぎた樹木の根上がりでつまづく危険があったり、雑草が繁茂し、公園を利用できないなどの管理面の困りごともあります。ペットのフンやごみ問題なども解決したいです。

全公園に共通する要望は、トイレ・手洗い場・屋根付き休憩所が欲しいという意見でした。特に子育て世代には、無いと困る施設です。幼児用の遊具を設置して、小さい子が安心して遊べる公園をつくってほしいです。



各班の意見のまとめ 参加者の方に発表してもらいました！

1班

[参加人数：11人]

6公園を一体的に考えて、地域性を感じる要素を取り入れ、統一感のある計画がよいという意見が出ました。駅前広場のシンボルである「風車」や「水辺」は地域性を感じさせます。

公園施設では、老朽化やニーズの不一致があり遊具を見直すことや、ベンチの充実、トイレの要望などがありました。樹木や花壇は公園の魅力であり、「四季を感じる公園が良い」という意見で一致しました。

また、利用者マナーの悪さや公園管理への要望が挙げられました。



4班

[参加人数：11人]

公園や公園周辺は、外灯があまりないため夜が暗く防犯面で心配なことが多いです。特に南清和園公園は、樹木が多く暗く感じる場所があったり、周辺の人通りが少なく、子どもを遊ばせるのが心配です。

また、全公園で共通する課題は、不法投棄や犬猫の糞尿問題、大きくなった樹木の根上り、広場の雑草繁茂などがあり、子ども達の集まりにくい環境になってしまっています。

みんなが公園に行きやすく、明るく安全な環境になってほしいです！



2班

[参加人数：9人]

公園の大きく生長した樹木は、木陰をつくり公園の魅力になっています。しかし「根につまづく」「危険な枝がある」などの欠点についても多数の意見が出ました。

上新田公園は、新しい駅と一体感のある空間で、イベントなどが開催しやすい公園にしたいです。下新田公園では、雑草繁茂、不法投棄の問題が深刻といった意見がありました。明るく安心して利用できる公園にしたいです。

全公園に対して「各公園のテーマカラーをつくる」「桜の木を植栽」といった意見が出ました。



5班

[参加人数：10人]

「地域住民は日常的に公園を利用する習慣づけ」が大切という意見があり、たくさんの方が集まるクリーンな公園であってほしい要望がありました。

施設では、子どもの遊具が少なすぎるから増やしてほしい、新しい機能として健康器具を要望する意見がありました。

みどりや花に関する意見としては、大きな木や桜、花壇、プランターを魅力としている反面、雑草、繁茂した高木による暗さ、落ち葉（掃除が大変）に対する不満も挙げられました。

